

受講番号 19055 学校名 愛宕中学校 氏名 岸野 千秋

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 3年生 生徒数 20 名
科目名 3年生 単位数(授業時数) 3 時間 使用教科書名 New Horizon English Course 3

クラスの様子・特徴

全体的に明るく素直で生徒の多くは落ち着いて学習に取り組むことができる。1クラスを半数に分けた少人数授業を行っているが、人数が少ない分、少し音読などの声が小さく感じられる。積極的にやろうとする生徒とそうでない生徒との間で理解の差が見られる。

問題の確定

英語が嫌い、難しい理由に単語が読めない、書けない、意味が分からないと感じる生徒が多い。単語を少しでも多く覚えさせたい。

予備調査

A 授業の観察

生徒は真面目に取り組んでいるが、学習内容が十分理解できていない生徒もみられる。そういう生徒は単語の発音や音読する時にあまり口を開けていない。語彙力のなさから表現力や読解力の低さとなっている。

B 生徒による授業評価

アンケート結果から「英語が嫌い」と答えた生徒が43%いた。その理由として単語のつづりが覚えられない、覚えることが多い、読めない、意味がわからないだった。また、英語の授業で難しいと思うことは単語を書くこと、単語のつづりと発音などをあげた。

C 学力データ

3年生の1学期の定期テスト(中間・期末合計)では、観点別の得点率は表現42.7%、理解53.8%、言語文化63.8%であった。また、全学年の範囲で実施した重要単語テスト(20問)では、全体で40.8点という平均点であった。

リサーチ・クエスチョン

基礎的な単語を読めて書けるようになるにはどうすればよいか。

仮説・実践・検証

仮説1

意識的に音と文字をつなげて発音練習をすれば覚える負担が少なくなるのではないか。

実践1

品詞別(名詞、動詞、形容詞、助動詞、副詞など)に分類したものを全学年通じて、よく使われる重要単語の範囲シートを作成した。テスト10問×3回分を1枚にして作成し配布、ファイルに閉じさせた。毎時間、授業の最初に次回のテスト範囲の10問の単語の発音をゆっくり文字とつなげるように読んでいく。意味の確認もしながら全員で読んだ。これは3年の新出単語の導入の時も音と文字をつなげて発音するように心がけた。

検証1

品詞に分類したが、品詞そのものを理解し難い面があり、余り効果はなかったかもしれない。ただ、過去に一度は習っている単語なので、1単語ずつ発音することで、忘れていた語が思い出され記憶しやすい面はあったように思う。わからない時には、友達に聞いたり覚えようという努力する姿が見られた。つづりを音として読むことを意識づけると一文字が一つの音ではないということを改めて感じることもできた。

仮説2

単語テストを毎時間行うことで意欲を高め、覚えようという意欲が増すのではないか。

実践2

毎時間、授業の最初に3分テスト、次の範囲の発音練習を2分、前回のテストの返却1分というサイクルで6分程の時間を確保し実施した。単語を覚えることを苦手としているが毎時間することによって習慣化し、意欲的に取り組む姿が見られた。

検証2

チャイムが鳴って席に着かないとテストが受けられないということも意識して取り組ませた。休み時間に少人数教室に移動してきて単語を覚える生徒もいる反面、「今日何処の範囲?」と取り組みが出来ていない生徒も見られた。テストは次の時間には必ず返却するようにし、サイクルのリズムを変えないよう注意した。100点の生徒に対しては「Very good!」と声がけするなど、頑張っていることをみんなに知らせるようにした。

仮説3

単語練習を頑張りノート(自主ノート)に取り組ませ、授業に基本文学習プリントやゲーム(クイズ)を取り入れることによって、語彙力が高まるのではないか。

実践3

最初に頑張りノート(自主ノート)に書いて覚えるように指示をして、学期毎のノート提出のページ数を決め、一石二鳥だと声がけをしておいた。また、基本本文の学習プリントに出てくる単語も覚えていくことも指導した。多くの機会を通じて単語を覚えていくという点では、短時間で、クロスワードパズルにも挑戦してみた。ゲームを取り入れることによって、楽しく単語を覚えるということを心がけた。

検証3

頑張りノート30ページ以上をAの評価にし、定期的に提出をさせたが、2/3程度の生徒がAであった。内容は単語のみに限らないが、単語もかなり取り組んでいた。基本本文の導入時に学習プリントを作成し、いろいろな単語を使用して理解を深めるようにした。単語テストで覚えた単語が役立ったという生徒の声も聞かれた。クロスワードパズルやALTとのビンゴゲーム・すごろくゲームに楽しく取り組んだ。

研究の成果

3年という受験を控えた時期に受験対策も考えるとやはり教科書やテストなどに頻繁に出てくる重要単語を読めて書けるようにしていくことが先決かと思い、このリサーチに取り組んだ。最初に行った重要単語テストと同じテストを2学期末に行くとクラス平均が12点upという結果が出た。生徒のアンケート結果を見ると重要単語テストをやった、ほとんどの生徒が「覚えた単語(語彙)が増えた」「役に立った」「これからもやった方がよい」という予想したより多い結果がでたことは、とても嬉しかった。最近ずいぶん英語が理解できるようになり楽しい」の声も聞かれたことが何より嬉しいことだった。

今後の授業改善の課題

生徒達は単語を覚えることの大切さや単語を覚えることによって長文を読む時に役立つということを実感することができた。さらに今回、継続して取り組むことで生徒達に変化が見られ始めたことを自分自身も実感できた。次は単語から文として覚えていけるように、さらには音読へと学習活動を広げていくことができればと思っている。

リサーチについての問合せ先:

職場電話 088-822-5295